

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について、3.11の災害以降とくに利用者様の安全確保について検討した。課題としては、いかにスタッフ間の連携を保ち、利用者様を誘導するかということである。	1. 避難訓練を怠らない事。本年3月に消防訓練を行なったが、さらに本年9月に夜間災害を想定した訓練を行なう予定である。 2. 地域自治会に申し入れ協力を仰ぐ。	1. 防災マニュアルはあるが、震災マニュアルについて至急、作成したい。 2. 地域との協力・共同で避難訓練を成功させたい。	3ヶ月
2		職員の真に利用者様の目線に立った生活・行動支援を行なうこと。現状は、ややもすればその理念が忘れがちになり職員優位の言動が見られることもある。	業務ミーティングで、繰返し理念と行動の一貫についてそれを実践できるよう訴えていく。学習・教育に力をいれ、積極的に職員の参加を促す。基本は「確かに生活できるグループホーム」である。	外部での学習会等の参加について、その参加のために関る交通費等の規定が無かつたが、交通費、参加費日等について規則を作る事にした。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月